

A 5 読書座談会の仕方

1 教科書関連単元 (1)『海の命』と関連させて 国語科 6年

6年国語科学習(読書指導)活動案

< 三二読書座談会 >

1 教材名 学習したことを生かして「海の命」

2 本時の目標

- ・「海の命」と関連したいのちのシリーズを読み、その共通した部分や作者の思いについて考えさせる。
- ・物語を他の人と共有しながら読む楽しさを味わわせる。

3 本時の展開

学習活動と内容	担任の支援	司書教諭の支援(太字は準備)
<p>今日の学習目当てについて話し合う。</p> <p>「いのちのシリーズ」を読む。 「山のいのち」 「川のいのち」 「田んぼのいのち」</p> <p>「いのちのシリーズ」の共通点について考える。</p> <p>グループで話し合ったことを発表する。 ・4つの作品から考えたこと ・作者の思い</p>	<p>・「海の命」と関連した「いのちのシリーズ」について学習することを知らせる。</p> <p>・3人グループを作らせる。 ・読みの苦手な児童への支援をする。</p> <p>・話し合いが進みにくいグループの支援をする。</p> <p>・お互いの考え方を認めるようにさせる。</p>	<p>立松和平の作品</p> <p>・「いのちのシリーズ」について説明する。 ・3人グループでそれぞれが1冊ずつ読むようにさせる。 プリント(読書メモ) ・心に残った言葉や場面、筆者の思いなどをメモに書くことができるようにする。</p> <p>A3の記入用紙</p> <p>・4つの作品の概要について話し合わせ、その類似点や相違点を指摘させる。 ・話し合いの中から考えられる作者の意図や思いについて考えさせる。</p> <p>・立松氏の対談などを紹介し、作者の思いについて考える資料とさせる。</p>

@評価

- ・作者の考え方や思いについて、積極的に考えたり発言したりすることができたか。
- ・「いのちのシリーズ」を意欲的に読むことができたか。
- ・他のグループや人の考え方に共感したり、反論したりすることができたか。